

2008（平成20）年 5月 9日

各 位

学校法人 関西学院
学校法人 千里国際学園

法人合併に向けた協議開始について

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

関西学院と千里国際学園の法人合併に向けた協議を開始することを、本日、両学校法人の理事会が合意いたしましたので、下記のとおり発表いたします。

記

学校法人関西学院（兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号、理事長 森下洋一。以下「関西学院」と、学校法人千里国際学園（大阪府箕面市小野原西四丁目4番16号、理事長 大橋太郎。以下「千里国際学園」とは、2010（平成22）年4月の合併を念頭に協議を開始します。今後、両法人の間で、合併に向けた法的、制度的また実務的な検討を進めていきます。

1. 両法人の概要

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育を建学の理念として、1889年（明治22）年に創立されました。今年4月に開校した初等部（小学校）をはじめ、中学部（中学校）、高等部（高等学校）、大学（神、文、社会、法、経済、商、理工、総合政策、人間福祉の9学部）、大学院（神、文、社会、法、経済、商、理工、総合政策、人間福祉、言語コミュニケーション文化の10研究科）、専門職大学院（司法、経営戦略の2研究科）を設置しています。また、来年4月の学校法人聖和大学との合併を機に、教育学部・教育学研究科の開設、聖和幼稚園と聖和短期大学の設置を計画している総合学園です。

一方の千里国際学園は、関西財界の支援を受けて、1991（平成3）年に設立され、学校教育法第1条校である「千里国際学園中等部・高等部（中学校・高等学校）」と、外国人生徒の教育を行なう各種学校である「大阪インターナショナルスクール（予科、初等科、中等科、高等科）」を設置しています。これら2校は、同じ敷地と校舎で密接に連携して教育活動を展開し、帰国生徒、外国人生徒と一般日本人生徒が共に学ぶという日本初の新たな形態の国際学校として、真に国際的な教育を実践しています。

2. 合併の意義

関西学院は、100年以上前に「世界市民」として世界の人々のために生涯を捧げた創立者W・R・ランバスの理念を受け継いできました。すなわち、人間性、倫理観、国際性を備え、

世界的視野で様々な人々と共に生きる人間の育成を使命のひとつとしています。これは、千里国際学園が「明日の世界に貢献する英知と思いやりと創造性に満ちた個性の育成」の教育理念のもと、国際性豊かな生徒・児童を輩出し、開校以来培ってきた卓越した国際性と同義であり、両法人の理念は、21世紀をリードする「世界市民の育成」という点で一致するものです。

合併した場合は、千里国際学園中等部・高等部と大阪インターナショナルスクールという国際性豊かな特色ある教育を実践する2校を、関西学院が承継することになります。関西学院では、初等部から大学・大学院までの諸学校が、それぞれ国際性を意識した教育に取り組み、また、大学では2010年度を目標に国際系学部の新設を構想しています。これに千里国際学園の2校を含めた諸学校間での連携協力をより活発化させることで、関西学院の総合学園としての魅力を一層かつ重層的に高めることにつながります。そして、千里国際学園が有する卓越した国際性との融合は、関西学院が目指すさらなる国際性の発展に結実するものとなります。

3. 関西学院と千里国際学園との繋がり

関西学院と千里国際学園とは、2005年8月に「学校法人関西学院と学校法人千里国際学園の連携協力に関する協定」を締結し、両法人がよりその国際性を高め、発展を図ってきました。この協定に基づき、関西学院大学は千里国際学園高等部のための協定校推薦入学制度を設け、全学で15名程度の推薦枠を設けています。

4. 合併後の形態

私立学校法の定めに基づく合併後の存続法人は関西学院で、名称は「学校法人関西学院」とします。また、千里国際学園が設置する千里国際学園中等部・高等部と大阪インターナショナルスクールは、関西学院が設置する学校として、現在の千里国際学園の校地で存続します。

5. 今後の計画

両法人の間で、合併に向けた具体的な協議をすすめていきます。両法人が合併について合意した後、合併契約書を締結する予定です。

なお、本内容は現段階での両法人の構想であり、また、合併は大阪府知事および兵庫県知事経由で申請する文部科学大臣の認可事項ですので、今後、協議の進捗にともない関係官公庁との相談を始めてまいります。

以上